

市民伝言板

市民伝言板は、サークル会員の募集やイベント情報を掲載するコーナーです。みなさんからの投稿をお待ちしています。

注意事項▶①営利目的や政治活動、宗教関係のもの ②特定の人や団体のみを対象としたもの ③公序良俗に反するなど、行政広報の公共性、公益性を損なう恐れがあるものは、掲載できません。その他、申し込み方法など詳しくは、秘書課広報広聴係まで。

時とき 場ところ 会費・入場料など 定員・募集人数
 申し込み方法など 問い合わせ先 対象 他その他

ふれあいダンスパーティー

自由参加で楽しくダンス、収益の一部は善意銀行へ預託。
 時 7月5日(日)午後1時30分～4時
 場 中部福祉センター
 会費 500円 問 石川ただしさん(☎090<6338>3739)

市民公開講座「がんの知識」

知っておきたいがんの基礎知識についてお話しします。
 時 7月18日(土)午前10時～11時
 場 安城更生病院 定員50人
 問 安城更生病院がん相談支援室(☎<75>2111)

更生保護女性会 子育て講座

親子で作ろうエコな染め物、自分だけのハンカチを染めよう。
 時 7月31日(金)午前9時30分～正午
 場 作野公民館 会費1枚500円
 定員 親子15組 問 加藤美知子さん(☎090<1472>5240)

第12回八彩会展

八桜会、東彩会などの合同展。
 時 7月7日(火)～12日(日)午前9時～午後5時(7日は午後1時から、12日は午後4時まで)
 場 市民ギャラリー
 問 服部八千代さん(☎<99>1354)

第23回芳墨會書作展

各自の向上を目指した書作展。
 時 7月22日(火)～26日(土)午前9時～午後5時(22日は午後1時から、26日は午後4時まで)
 場 市民ギャラリー
 問 神谷采邑さん(☎<92>1922)

バドミントン仲間募集

初心者でも歓迎します。
 時 毎週(休)午後7時～9時 場 安城南中学校体育館 会費半年6000円
 対象 高校生以上
 問 南中バドミントンクラブ板倉進さん(☎<92>0223)

講演会「7ヵ国語で話そう」

多言語で育てるコミュニケーション力についてお話しします。
 時 7月9日(木)午前10時～正午、12日(日)午後2時～4時
 場 市民会館 他託児あり 問 牧令奈さん(☎090<4466>1324)

イベント盛りだくさん!!

まるくてBang! Bang! 夏まつり
 時 7月25日(土)午前10時30分～午後1時30分 他模擬店出店あり
 場 問 まるくてワークス岡田さん(☎<77>1000)

絵・絵手紙やさしい会

絵手紙や絵を仲間と描き、将来の生きがいを作ろう。
 時 月2回(休)午後1時30分～3時30分 場 西部福祉センター
 対象 60歳以上 会費月額1000円程度
 問 鈴木一さん(☎<76>3805)

第27回ちぎり絵優美会展

ちぎり絵と円すい発泡スチロールと和紙を使った作品です。
 時 7月17日(金)～19日(日)午前9時30分～午後6時(19日は午後5時まで)
 場 文化センター
 問 鶴田裕子さん(☎<75>7732)

パッチワークキルト展

時 7月29日(火)～8月2日(木)午前9時～午後5時(29日は午後1時から、2日は午後4時まで)
 場 市民ギャラリー 問 キルトクラブエミーズ加藤恵美子さん(☎052<779>4977)

みちくさ(ささえあう親の会)

不登校、引きこもり、問題行動などで悩んでいる親の集い。
 時 毎月第2(火)午前10時～正午
 場 文化センター 会費1回500円
 問 杉浦容子さん(☎090<7315>4572)



サークル紹介

桜井ラージボール卓球愛好会

みんなで楽しくストレス解消

平成18年10月に結成されたサークルです。ラージボール卓球とは、通常の卓球を、誰でも楽しめるようにアレンジされたスポーツです。なので運動が苦手な人でも簡単に始められます。メンバー間で実力の差がほとんど無いため、男女問わず、わきあいあいと活動している



のが自慢。やさしい指導者がいるので、初心者でも安心です。また、あくまで楽しむことをモットーにしていますので、春にはお花見、冬には忘年会もあります。何か運動を始めたい人や、ストレス解消をしたい人など、誰でも気軽にお越しください。お待ちしております。



桜井ラージボール卓球愛好会のみなさん

時 毎月第1・3(土)午後1時30分～4時30分 場 桜井公民館 会費月額500円 問 長谷川妙子さん(☎<92>1029)

輝いてます

田中瑛子さん(小堤町出身) 目指すは何でも挽ける木地職人

安城市と災害時相互防災協定を結んでいる石川県加賀市。ここで山中漆器の職人を目指す、安城市出身の人を見つけました。

◆なぜ漆器作りを？

もともと造形に興味があって、愛知県内の大学で漆器を専攻していました。ただ、大学で学ぶのは注文した木地(木でできた、器の原型)に漆を重ねていく技術。自分のイメージと注文品が違うことも多く、いつのころからか、木地から完成まで、すべて自分の手で作りたくなったんです。

◆どうして加賀市へ？

加賀市の山中という町は、木地挽きでは日本一だと思えます。今は石川県挽物輪軸技術研究所とプロの職人の工房で、必死に技術を学んでいます。実力がついてきたのか、年に何度か作品展に出品して、入選をいくつかもらえるまでに。また、工房では、最近よう

やくいろんな仕事を任せてもらえるようになりました。

◆造形の魅力は？

自分と向き合うことができるのが一番の魅力ですね。自分が妥協してしまえば、作品の質もそこで終わり。わたしは妥協するのが許せない性格なので、向いていると思うんです。

◆将来の夢は？

どんな形でも挽ける「職人」になることです。今は学校や工房など環境の整ったところにいるので、最低限の技術が身につけて、ある程度の種類は挽けるようになってきました。ただ、独立となると、道具や倉庫、

どんな形の器でも挽ける技術が絶対に必要。これからは腕を磨き、技術が身についたら、注文品だけでなく、クラフト(日用品)を始め自分の好みの形を作り出すなど、さまざまなことに挑戦していきたいですね。

